

都内(警視庁管内)における事業用貨物自動車  
関与した死亡事故発生状況 (平成26年11月30日現在)

年	死亡事故件数		
	総件数	うち会員関与	会員関与のうち 一当
平成25年	32(34)	9(9)	6(6)
26年	33	11	7
増減数	1	2	1

※東ト協が「トラック事故速報」の方法で会員に通知している件数を手集計したもの。平成25年の( )内は、年間件数

会員関与の死亡事故 ☆印は会員一当

発生日・場所	車種	状況
☆ 4月4日 墨田区内直線道路	中型	横断歩道を横断中の歩行者を未発見のまま衝突
☆ 4月27日 福生市内直線道路	中型	前方不注意により、前方の自転車を未発見のまま追突
☆ 5月29日 大田区内交差点	中型	右折する際、横断中の歩行者(高齢者)と衝突
☆ 6月26日 足立区内交差点	大型	左折する際、横断中の自転車(高齢者)と衝突
☆ 7月16日 東大和市内交差点	中型	横断歩道上で横臥していた歩行者の発見が遅れ轢過
☆ 7月29日 小金井市内交差点	大型	停止後に再発進の際、横断中の歩行者(高齢者)を未発見のまま轢過
9月14日 羽村市内直線道路	中型	何らかの原因により車道に進出した自転車を轢過
10月21日 品川区内直線道路	普通	自動二輪車に追突され、転倒した自動二輪車運転者を後方の自家用普通貨物車が轢過
10月28日 港区内交差点	普通	自動二輪車に追突し停止した自家用普通乗用車に追突し、自家用普通乗用車が押し出され自動二輪車を轢過
☆ 11月22日 江戸川区内交差点	大型	左折する際、直進してきた自転車を未発見のまま轢過
11月29日 港区内交差点	大型	直進中の自家用普通乗用車と出会い頭に衝突



東ト協

## 年末の輸送繁忙期『安全最優先』で

## 運転者への注意喚起・指導徹底を

年末にかけての輸送繁忙期を迎えて、東京都トラック協会(大高一夫会長)では改めて会員事業者に対して交通事故防止について注意喚起し、運転者に交差点での安全確認の励行など安全運転指導を強化・徹底するよう呼びかけている。業界では運転者・車両不足の状態が強まりつつあるが、この中で年末繁忙期を迎え、運転者は通常期より業務繁多となり、これに伴い事故リスクが高くなる時期にあるからだ。

東ト協では、事故防止について継続的に注意喚起するため、会員に「トラック事故速報(警視庁提供の死亡事故データ)を通知しているが、それによると、平成26年の都内(警視庁管内)における事業用貨物自動車関与の死亡事故件数は、11月30日現在で33件と前年同期より1件多い。

このうち会員関与のものは11件で2件の増加。会員第一当事者の死亡事故も1件増加の7件と、既に前年の年間件数(6件)を上回っており、改めて交通事故への警戒強化を要する状況にある。今年度は年明けから3月まで、会員一当死亡事故

は発生していなかったが、4月以降毎月、連続して発生し、7月末までに前年の年間件数と同じ6件になってしまった。このため、東ト協では交差点での事故防止を中心として、繰り返し会員事業者に事故抑止を呼びかけてきた。

幸い8月以降は、会員事業者の取り組み努力により、会員一当死亡事故は4か月近く起きていなかったが、11月22日に今年7件目が発生し、前年より増加に転じてしまった(表)。

昨年は、交差点通行時の指差し呼称による左右の安全確認と、ブレーキ足乗せの励行を促す「注意喚起ステッカー」配布などにより、事故防止緊急対策を推進。これにより事故抑止に取り組んだ結果、会員一当死亡事故は前年より3件少ない年間6件に減少していただけに、今年度は残念な結果となった。

会員一当死亡事故は、今年も交差点で多く発生しており、7件のうち5件が交差点での事故。このため日常の点呼時などにおいて、改めて運転者に対して安全運転の励行を指導し、繰り返し注意喚起を行うよう呼びかけている。

また近年、運転者の健康起因事故が増加傾向にあることから、国土交通省では今年度の「年末年始の輸送等に関する安全総点検」で運転者の健康管理体制のチェックを重点項目に追加した。

このため、年末にかけて業務繁多となる運転者の健康状態にも十分に注意を払い、「安全最優先」で業務遂行に当たるとともに呼びかけている。



「TOPPLANNER」賞

### 「TOPPLANNER」賞

東ト協は12月5日、東ト総合会館で平成26年度「グリーン・エコプロジェクト」(GEP)トップ表彰式を開催し、今年度「TOPPLANNER」賞として、取り組みが優秀な9社を表彰した。

受賞企業は、アルプス運送(多摩支部)・オータカ(杉並支部)・京南運送(品川支部)・柴又運輸(江戸川支部)・多摩運送(多摩支部)・東配(板橋支部)・日橋支部)・日

盛運輸(環境支部)・ハヤシ配送サービス(墨田支部)・村松機工運輸(深川支部)。

大高一夫会長および環境委員会の志村正之委員長(副会長)が、受賞各社に表彰状とトロフィー、副賞を贈り、表彰した。

表彰に先立ち大高会長があいさつし、受賞企業をたたえた上で、GEPは「今や国内外から高い評価をいただいている」とその成果を強調。さらに、先の国連エコドライブカンファレンスでGEP活動について発表し、全米トラック協会のG・P・ケジー副会長から「GEPの実践と哲

### 今後の施策に反映

意見交換会では大高会長および支部担当の彦田昌昭・江森東副会長ら各支部の正副支部長など幹部と膝を交えて意見交換し、協会運営や施策に対する意見・要望などを提起してもらった。

東ト協本部事務局は、年末は12月26日(金)まで、年始は1月5日(月)から通常営業。

東ト協本部事務局は、年末は12月26日(金)まで、年始は1月5日(月)から通常営業。

東ト協本部事務局は、年末は12月26日(金)まで、年始は1月5日(月)から通常営業。

東ト協本部事務局は、年末は12月26日(金)まで、年始は1月5日(月)から通常営業。

東ト協本部事務局は、年末は12月26日(金)まで、年始は1月5日(月)から通常営業。

### 第2回 本部集団健診

東ト協は平成27年2月14・15日(土・日曜日)、26年度第2回「本部集団健診(定期健康診断)」を実施する。対象は東ト協会員事業所に在籍するトラック運転者。開催

東ト協は平成27年2月14・15日(土・日曜日)、26年度第2回「本部集団健診(定期健康診断)」を実施する。対象は東ト協会員事業所に在籍するトラック運転者。開催

東ト協は平成27年2月14・15日(土・日曜日)、26年度第2回「本部集団健診(定期健康診断)」を実施する。対象は東ト協会員事業所に在籍するトラック運転者。開催

東ト協は平成27年2月14・15日(土・日曜日)、26年度第2回「本部集団健診(定期健康診断)」を実施する。対象は東ト協会員事業所に在籍するトラック運転者。開催

東ト協は平成27年2月14・15日(土・日曜日)、26年度第2回「本部集団健診(定期健康診断)」を実施する。対象は東ト協会員事業所に在籍するトラック運転者。開催

東ト協は平成27年2月14・15日(土・日曜日)、26年度第2回「本部集団健診(定期健康診断)」を実施する。対象は東ト協会員事業所に在籍するトラック運転者。開催

### 全25支部と意見交換会



東ト協は12月3日、荒川支部との意見交換会を開催し、これにより今年7月末から順次行ってきた25支部との意見交換会をすべて終了した。各支部から出された意見・要望は、順次に実施して

東ト協は12月3日、荒川支部との意見交換会を開催し、これにより今年7月末から順次行ってきた25支部との意見交換会をすべて終了した。各支部から出された意見・要望は、順次に実施して

東ト協は12月3日、荒川支部との意見交換会を開催し、これにより今年7月末から順次行ってきた25支部との意見交換会をすべて終了した。各支部から出された意見・要望は、順次に実施して





# 全ト協 燃料高騰分の転嫁調査

全日本トラック協会は、このほど、「燃料価格高騰分の転嫁に関する実態調査」結果概要をまとめた。それによると高騰分については、何らかの転嫁ができていない事業者は72.4%に上るが、一方で全く転嫁できていない事業者が27.6%と3割近くもいる。

必要と考える額のうち実際に受けている割合	割合
7～10割	9.6%
5～7割	15.3%
3～5割	19.7%
1～3割	31.8%
1割未満	21.7%

### まず転嫁要請の取り組みを

このうち3割未満が53.5%と半数以上もある。一部でも転嫁できた要因をみると、「運送会社の実情、原価などをきちんとして理解し、厳しい状況を理解されているため」との回答が81.5%と最も多い。このため転嫁推進には、まず自助努力として転嫁の必要性について荷主に理解を要請し、働きかけを強めることが重要となっている。

元請・下請間の対応状況に関しては、荷主に対しては、荷主に対しては、何らかの転嫁ができていない元請の場合、下請からの転嫁要請の割合が高く、運賃の値上げ要請が71.3%、燃料サーチャージの導入要請が26.8%と高い。

## 「事業用安全プラン」中間見直し

国土交通省自動車局は、「事業用自動車総合安全プラン2009」の中間見直しを行い、これまでの重点施策をさらに強化するとともに、新たに「運行の現場を含めた関係者一丸となった行動、構造的な課題への対応」を重点施策に追加した。

### 収受額5割未満が7割強

調査は6月に実施。回答数は217事業者。高騰分の真荷主への転嫁状況は、収受額が5割未満が7割強と厳しい状況にある。

元請・下請間の対応状況に関しては、荷主に対しては、何らかの転嫁ができていない元請の場合、下請からの転嫁要請の割合が高く、運賃の値上げ要請が71.3%、燃料サーチャージの導入要請が26.8%と高い。

## 新たな重点施策を追加

国土交通省自動車局は、「事業用自動車総合安全プラン2009」の中間見直しを行い、これまでの重点施策をさらに強化するとともに、新たに「運行の現場を含めた関係者一丸となった行動、構造的な課題への対応」を重点施策に追加した。

### 業界ごとの抑止対策推進

新たな重点施策については、①業界ごとのきめ細かい抑止対策を推進する。

### 目標に「危険ドラッグ絶無」

数200件以下の達成に向けた取り組みなどを推進する。

東京労働局

# 「Safe Work」

## 推進強調期間を展開

年末・年始の労災防止へ

厚生労働省が8月に労災防止に向けた「緊急要請」を発した。しかし、10月下旬から死亡災害が多発傾向にある。こうした労災事故の増加に歯止めをかけるため、昨年に続き年末・年始に「強調期間」を設定し、取り組みを強化することに決めた。

東京労働局は、「平成26年度年末・年始 Safe Work 推進強調期間」を展開し、各労働災害防止団体と連携して、官民一体で労災防止活動を推進している。取り組み期間は12月1日から27年1月15日まで。

### 国交省 輸送安全規則を改正・公布

国土交通省は、12月1日付で「貨物自動車運送事業輸送安全規則」を改正・公布し、運行記録計の装着義務付け対象を車離・長時間輸送が比較的に追加した。この改正の施行は27年1月1日から。

エネルギー・フロンティア  
**TOKYO GAS**

NGVを選ぶことが  
地球の未来を変える。

- 天然ガスを燃料とするNGV(天然ガス自動車)は、燃料多様化によりエネルギーセキュリティに貢献
- 天然ガスの可燃年数は250年程度(出典:IEA World Energy Outlook 2011)
- 天然ガスは燃やしてもSOxや黒煙を発生しないクリーンなエネルギー

東京ガス株式会社 NGV事業部 〒105-8527 東京都港区海岸1-5-20 TEL.03-5400-6772 http://eee.tokyo-gas.co.jp/ngv

おかげさまで  
**40000**台突破

日本の天然ガス自動車普及台数は、4万台を突破いたしました。(平成25年9月末)



### 九都県市首脳会議

## 国交大臣に要望書

### シームレス・弾力的な料金体系の導入を

### 高速網の利用最適化へ

東京都など首都圏の九都県市首脳会議は11月25日、太田昭宏国土交通大臣に対し、要望書「首都圏の高速道路網の利用を最適化する料金体系の構築について」を提出した。要望事項は、①三環状道路を含めた首都圏全体

で一体的に利用しやすいため、シームレスな料金体系を構築すること、②新たな料金体系の構築に当たっては、精度の高い交通渋滞予測や道路の混雑状況に応じて、弾力的に料金を変動させることを検討するなど、円滑かつ柔軟な交通流動を実現するために、ICT(情報通信技術)の活用を積極的に推進すること。

平成27年度には三環状道路の整備率が約8割となり、整備が進展するが、現行の料金体系では、首都圏の高速道路網の機能が十分に発揮されないおそれがある。

具体的には、料金が事業主体ごとに設定され、複雑な料金設定となつていくとともに、中央環状線や外環道より圏央道などの料金水準が高いといった問題がある。

このため国交省では、首都圏の高速道路網の整備にあわせて、28年度の導入を目的にシームレスな料金体系について検討中だが、その導入に当たっては、事業主体ごとの料金体系の見直しを含めた幅広い観点から、首都圏全体を見据えた検討が必要として、今回、要望を行ったものだ。

# 運輸 点描

## 初の引越「優良」認定

全日本トラック協会は12月18日に、平成26年度から創設した「引越事業者優良認定制度」(引越安心マーク制度)に基づき、初の「優良」認定事業者を発表し、情報公開する。この制度が目論み通りに機能すれば、今後の業界の健全な発展に向けた大きなステップとなるだけに、信頼性の高い制度として定着することが期待される。そのためには業界での「優良」認定の取得促進はもちろんだが、一般消費者にいかに関知・浸透させ、認知度を高めるかが今後の大きな課題だ。

「引越安心マーク」制度は、全ト協引越部会(鈴木一末部会長)が長く検討を重ね、ようやく今年度から実現にこぎ着けたもの。今年7月に第1回の申請受付が行われ、申請数は324件(グループを含む)で、その対象となる事業所は1749事業所に上る。

認定の有効期間は27年1月から3年間で、いよいよ制度の本格運用がスタートする。

制度創設の狙いはまず、利用者対応を含めた引越サービス品質の向上を図り、業界全体のレベルアップを図ることだ。あわせて、利用者に対して安全・安心な引越サービスを提供する「優良」認定の事業者情報を提供し、選択しやすくすることに

## 一層のサービス向上の契機に 利用者への周知・浸透が課題

関係するすべての事業所(営業所)に、全ト協が行っている「引越管理講習」修了者(過去3年度以内の修了)が1人以上在籍していることに加え、安全性優良事業所(Gマーク認定事業所)、またはこれに準ずる基準を満たすことだ。

Gマーク取得を要件としたのは、安全性の確保が輸送サービスの前提であるから。確かに、現状のGマーク取得率(25年度認定時点/事業所数で23.0%、事業者数で14.4%)からすると、特に中小の引越事業者にとつて、その要件はクリアするのが容易いとは言えないのが実情だ。

ただ仮にも「優良」と認定するのだから、大前提の「安全性」を評価するGマーク取得は、欠かすことのできない要件ということだろう。あえて、こうした要件を設定したのは、今後、制度の普及・定着を図る上で、制度自体に対する信頼性の確保が重要であるからだ。

例えば、一般消費者が「優良事業者を選んだはずなのに」といった苦情や不満を抱くようであれば、制度の信頼性を損なうことになりかねない。

それゆえ「優良」認定を受けた事業者は、従来以上にきちんとしたサービス提供を求められることになる。利用者には当然「優良」認定にふさわしいサービスを(ライター 山上達三)

### 東ト協 第3回 運管試験事前講習会

27年1月25日、2月8日

受講対象は会員事業者の都内営業所に所属し、今年度第2回運行管理者試験(27年3月1日実施)の受験予定者。

特に保有車両5台未満の事業者は、4月30日までに運行管理者の選任を義務付けられており、期限までに選任するために、3月実施の運管試験に合格する必要がある。

こうした事情を踏まえ、事前講習会を行うもので、講師は日通総合研究所の専任講師。

申し込み期間は12月11日から19日まで(受付時間/月々金曜日午前9時～午後5時、期間前の受付は行わない)。

定員は各日とも120人(先着順。ただし車両5台未満で運行管理者選任が必要な事業者を優先)。受講申し込みは各回1社2人まで。

受講料は無料だが、テキスト代として1100円(税込)が必要。テキストは、日通総合研究所の「運行管理者試験(貨物)講習テキスト(平成26年度版「改」)」。

受講申し込みは、「運行管理者試験事前講習会」申し込み書(「申込書兼受講票」)に記入の上、FAX送信する。

### NASVA 安全マネジメント ガイドラインセミナー

27年1月15日と2月5日開催

自動車事故対策機構(NASVA)東京主管支所は平成27年1月15日と2月5日に、「ガイドラインセミナー(安全マネジメント講習会)」を行う。

「安全マネジメント・ガイドラインについて～14項目の要求事項とは」と題して、従来以上にガイドラインの要求事項に特化した内容で行う。

講習時間は各日とも午後1時から4時30分まで。会場はNASVA東京主管支所7階研修室(墨田区錦糸1の2の1アルカセントラルビル)。

定員は各日とも80人(定員になり次第締め切り)。受講料は5,100円(テキスト代を含む)。

▽申し込み・問い合わせ先=NASVA東京主管支所・安全マネジメント担当(☎03-3621-9941、FAX03-3621-9944)。申込書に記入の上、FAX送信する。

▽申し込み・問い合わせ先=東ト協運行管理部(☎03-3359-3618、FAX03-3359-4983)。



国土交通省総合政策局は11月27日、千代田区の東海大学校友会館で第1回「物流事業者におけるKPI導入のあり方に関する検討会」を開催した。

中小企業が大半を占める物流業界では、企業間競争の激化の中で人件費の切り詰めなどによる、必ずしも業務の効率化ではない面での競争が行われているおそれがある。

こうした状況を踏まえ、荷主と物流事業者が一体となって健全な効率化を推進し、高度化を図る必要があるとして、物

流業務の高度化のための指標(物流KPI)の導入に向けて、検討会を設置した。今後、物流KPIの設定および、これに基づく改善活動の浸透方法などについて検討し、推進方策について提言を取りまとめる予定。

検討会は、流通経済大学の林克彦教授を座長に学識者、物流・荷主企業、物流業界団体、行政の委員10人で構成。事務局は日本ロジスティクスシステム協会JILS総合研

カメラは見ていた。その瞬間を!

YAZAKI

**ドライブレコーダー**

を付けてみませんか?

ご希望がございましたら、ご連絡下さい。

矢崎エナジーシステム 特約販売店

**世田谷サービス株式会社**

本社 03-5727-1600  
板橋(営) 03-5916-3557  
ホームページ http://www.setagaya-yss.co.jp  
E-mail: postmaster@setagaya-yss.co.jp



# 「トラックの日」

## 新聞広告に「好感」約7割

東京都トラック協会が、度第4回委員会を開催。報・情報委員会(彦田昌 今年度の「トラックの日」(委員長)は12月3日、PR活動に関して報告する。東ト総合会館で平成26年



東ト協 広報・情報委員会

## 「交通安全下敷き」デザイン決定

「交通安全啓発用下敷き」デザインを決定した。冒頭、彦田委員長があいさつし、「大高部長が各支部幹部との意見交換会では、広報活動の強化を求める意見や要望が多い」と述べ、積極的に広報活動を推進する考えを強調した。

議事では今年度「トラックの日」PR活動について報告。本部では一般生活者向け体験型イベント「BOISA I EXPO 2014 in 豊洲」(10月4・5日開催)に協賛ブース出展し、業界の安全・環境対策や緑ナンバートラックの役割などを紹介した。

また、読売・毎日・東京新聞各紙に「あるときは経済大国を走り、あるときは災害大国を走りまわす」とのキャッチコピーでPR広告を掲載。新たな試みとして、東京メトロ丸の内線6駅の大規模ディスプレイで協賛CMを放映した。

こうしたPR活動の効果として、一般紙掲載の広告に関する読者アンケート調査結果について報告。新聞広告について「概ね理解できた」との回答が約9割、「好感を持った」との回答も約7割に上り、業界のイメージアップに一定の効果があつたことが分かった。

自由回答・意見として「日夜、日本中のために頑張っていると感じた」と

学児童に配布する「交通安全啓発用下敷き」デザインを決定した。

また、読売・毎日・東京新聞各紙に「あるときは経済大国を走り、あるときは災害大国を走りまわす」とのキャッチコピーでPR広告を掲載。新たな試みとして、東京メトロ丸の内線6駅の大規模ディスプレイで協賛CMを放映した。

こうしたPR活動の効果として、一般紙掲載の広告に関する読者アンケート調査結果について報告。新聞広告について「概ね理解できた」との回答が約9割、「好感を持った」との回答も約7割に上り、業界のイメージアップに一定の効果があつたことが分かった。

自由回答・意見として「日夜、日本中のために頑張っていると感じた」と

などの好意的な意見の一方で、「事故に気を付けてほしい」といった指摘も寄せられた。またトラックに緑ナンバーと白ナンバーがあることを知らないとの回答が約3割と多く、今後の課題として対応を検討する方針。

来春の新人学児童に配布する「交通安全啓発用下敷き」は、「はしれトラックゆめのせて!」のキャッチコピーに、トラックが荷物とともに、多くの人たちの「夢」を運んでいることを表現したものに決定した。

さらに、27年度広報活動の事業計画の策定などに向けて意見交換を行い、より効果的な広報活動に取り組みを確認した。

## 第1回青年部研修会

全管理の向上の秘訣はすべて脳の活性化にあつた。5つの能力向上を図れる速読(動体視力、視野角、聴覚判断力、直感力)と題して

## 「楽読」効果を体験 運転者教育に活用を

東ト協は11月19日、東ト総合会館で平成26年度第1回青年部研修会を開催した。今回は「東京カモガシララン」の楽読インストラクター・松尾奈那子氏が、「社員能力アップと安心」の楽読を活用し仲間を増やしてほしい」と述べた。

楽読は「楽しく楽に速く読む」の略で速読の一種。楽読により、右脳をフルに使うことで、集中力や直感力が上がり、視野が広がるなどの効果があるため、事故防止や運転者教育にも活用できる。研修では、楽読トレーニングの一部を実施し、参加者たちは実際に、トレーニングの前後で読書速度が上がることを体験した。

## 第36回 出版物関係輸送懇談会

東ト協出版・印刷・製本・取次専門部会(瀧澤賢司部会長)は12月1日、墨田区錦糸の東武ホテルレバント東京で、第36回出版物関係輸送懇談会を開催した。輸送量が減少傾向を辿る中で、荷主と



第36回 出版物関係輸送懇談会

輸送事業者が協力してこれまでない対応策を講じ、業量の平準化や効率化などに取り組みが必要があることを確認した。

懇談会ではまず、瀧澤部会長が出版物輸送の現状と課題について説明。輸送量の減少傾向で厳しい事業環境にある現状を踏まえ、事業者と荷主側各団体の双方で、今後5年・10年後の見通し、および今後取り組むべき対策などをめぐって意見交換した。

瀧澤部会長は、業界が直面する課題として燃料価格高騰問題や、運転者をはじめとした労働力不足問題を提起。その上で「CVS(コンビニエンスストア)への多品種少ロット・時間指定配送への対応は、現行の運賃では対応が厳しい」と強調した。

一方、日本雑誌協会の

勝野聡物流委員長は輸送量の減少傾向への対応策について、「これまでの雑誌を大量発行し、販売機会を拡大するという方針を見直すことも必要。発売日の設定についても検討しなければならぬ」と指摘した。日本出版取次協会の柏木祐紀輸送研究委員長は、業量の平準化を今後さらに進める必要があるとし、そのためには「少量輸送のダイヤグラムを構築しなければならぬ」と提起した。

また、荷主側の運送事業者に対する期待・要望として、配達先でのマナ

## 群馬へ研修見学会 女性経営者と交流



群馬へ研修見学会 女性経営者と交流

東ト協女性部(原玲子本部長)は11月16・17日の2日間、平成26年度「女性経営者研修見学会」を実施し、この一環として群馬県トラック協会を訪れ、女性経営者らと意見交換会(交流会)を行った。

研修見学会には本部長の原副会長、内田發子・楯列和子・長谷川明子各副本部長をはじめ44人が参加。今回は群馬県などを訪れ、11月16日に「渋沢栄一記念館」と世界文化遺産に登録された「富岡製糸場」、翌17日に「IH1エアロスペース」の富岡事業所を見学した後、群馬ト協を訪問。

群馬ト協の女性経営者との交流会は、今年6月に続き2回目目で、群馬側から三浦文雄会長や女性経営者7氏など11人が出席。三浦会長のあいさつの後、女性経営者組織の活動のあり方やネットワーク作りなどをめぐって意見交換し、交流を深めた。

## 協会日誌

- 品専門部会経営者研修会
- 19日 海上コンテナ専門部会定例役員会▽同東京港周辺における違法駐車車両撲滅キャンペーン▽東京運輸支局・街頭検査に協力▽物流経営士課程▽青年部研修会
- 20日 女性部正副本部長会▽同大高会長との意見交換会▽板橋支部正副支部長等支部幹部と連絡協議会(第一ホテル東京)
- 21日 鉄鋼専門部会安全環境委員会▽ロジ研温故創新セミナー(24日)▽関ト協専務理事連絡会
- 22日 大高会長及び支部担当副会長との意見交換会
- 23日 鉄鋼専門部会安全環境委員会▽ロジ研温故創新セミナー(24日)▽関ト協専務理事連絡会
- 24日 事務局長会▽紙・パルプ専門部会・日本製紙連合会物流委員会・東京洋紙代理店会
- 25日 物流委員会合同研修会▽青年部正副本部長会▽同幹事会
- 26日 交通安全啓発「緑十字銅章」伝達式▽総務小委員会▽ロジ研本部連絡会▽食糧専門部会▽同幹事会
- 27日 ペーパーレス化推進委員会
- 28日 総務委員会
- 29日 東京都白鬚東備蓄倉庫運用体制検討会議・運用訓練▽物流経営士課程(30日)
- 12月16～31日
- 16日(火) 14時▽本部事故防止大会の在り方検討小委員会(東ト総合会館)▽17時30分▽ロジ研正副本部長会議(幹事会(銀座アスター))
- 17日(水) 15時30分▽地域
- 18日(木) 14時▽鉄鋼専門部会安全環境委員会(東ト総合会館)
- 19日(金) 15時30分▽支部事務局事務局長会議(東ト総合会館)
- 24日(水) 16時▽正副本部長会(東ト総合会館)
- 26日(金) 仕事納め

## 寄附

東京都トラック交通連児等助成財団に次の方々から寄附がありました。

◇杉並支部(飯田勇一支部長) 写真①は大高会長から感謝状を受け取る勝俣良美氏(中)と飯田支部長

◇女性部(原玲子本部長) 写真②は大高会長に寄附金を手渡す原本部長(右隣)と(右側へ順に)内田發子・楯列和子・長谷川明子各副本部長

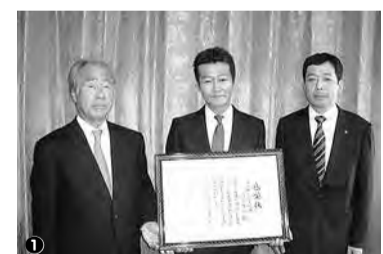
◇(株)志村運送(志村正之社長・杉並支部) 写真③は大高会長に寄附金を手渡す志村氏

## 新会員

◆互協物流株式会社 江東区有明4の4の17 03・6457・161 3▽一般貨物(普通車7台)



1



2



3



# 対外発信型イベントを目指す

## 事故防止大会

### 検討小委が報告

東京都トラック協会連合安全委員会(江森東委員長)は12月3日、東ト総合会館で平成26年度第3回委員会を開催し、懸案の本部事故防止大会の見直しについて、検討小委員会からの報告を踏まえ、今年度の第19回大会の実施内容などを承認した。同小委では引き続き検討を進め、今後、対外発信型イベントの実施を目指す方針。

江森委員長はあいさつで、会員第一当事者の死亡事故発生状況に触れ、「残念ながら、11月22日に今年7件目の会員一当死

## 26年度 大会案を了承



### 東ト協 運輸安全委員会

同小委の委員長を務める中村克敏副委員長が、今年度大会は、第2部として一般からのパネラーを交えて、パネルディスカッションを行う。テーマは「私たちが取り組むべき交通安全活動を考える(副題)ひとつでも事故を減らすために」。業界パネラーとして、小学校で交通安全教室を開催している東ト協青年部や、足立・江戸川・城東各支部代表が参加し、それぞれ独自の取り組みなどを紹介する。

同日はこれら議事に先立ち、警視庁交通部の山下憲一交通安全組織係長が事業用貨物自動車関与者特別講習の実施状況などについて説明した。

同日はこれら議事に先立ち、警視庁交通部の山下憲一交通安全組織係長が事業用貨物自動車関与者特別講習の実施状況などについて説明した。

同日はこれら議事に先立ち、警視庁交通部の山下憲一交通安全組織係長が事業用貨物自動車関与者特別講習の実施状況などについて説明した。

同日はこれら議事に先立ち、警視庁交通部の山下憲一交通安全組織係長が事業用貨物自動車関与者特別講習の実施状況などについて説明した。

同日はこれら議事に先立ち、警視庁交通部の山下憲一交通安全組織係長が事業用貨物自動車関与者特別講習の実施状況などについて説明した。

同日はこれら議事に先立ち、警視庁交通部の山下憲一交通安全組織係長が事業用貨物自動車関与者特別講習の実施状況などについて説明した。

## 交通栄誉章 「緑十字銅章」伝達式 原副会長など6氏に栄誉

### 東ト協・関交協

東ト協と関東交通共済協同組合(三浦文雄理事長)は11月26日、千代田

区のグランドアーク半蔵門で、平成26年度交通栄誉章「緑十字銅章」伝達式を開催した。今年度は6氏が受賞し、東ト協の大高一夫会長が各氏に表彰状と緑十字銅章を授与した。



東ト協推薦では原玲子副会長(日本興運・中央支部)をはじめ、佐久間恒好(商運サービス・練馬支部長)、秋山悟(サンキューコーポレーション・世田谷支部副支部長)、芦澤豊樹(明創運輸・多摩支部副支部長)、若林祀喜(シンコー・世田谷支部)の5氏。また関交協推薦の香川省司氏(東



都運搬社・墨田支部長)が受賞した。

伝達式であり、立った大高会長は、受賞各氏の功績をたたえ、後、「運輸事業に携わる者として、交通安全活動を積極的に推進し、交通事故のない安全な交通社会の実現に向け努力する必要がある」と強調。

東ト協は「輸送の安全」を重点施策とし、警視庁主催のセーフティドライバー・コンテストや、全国交通安全運動への積極的な参加など「交通安全対策に力を入れ、徐々に成果を出している」と述べ、一層の取り組み強化を呼びかけた。

来賓として警視庁交通部の林正己管理官と、東京都交通安全協会の加納道朗常務理事が出席。代表して林管理官があいさつし、「都内の交通事故の発生件数・負傷者数は昨年比で1割以上減少しているが、残念ながら死者数は増加している」と指摘。「年末における重大事故防止対策の推進をお願いする」と取り組み強化を求めた。

この後、受賞者を代表し、原副会長が「業界はもとより、地域においても常に交通安全の中心となり、尽力していきたい」と謝辞を述べた(写真)。

## 荷主との合同研修会

### 安全・効率的輸送には 適正な運賃収受必要

東ト協紙・パルプ専門部会(菅英彦部長)は11月25日、東ト総合会

館で日本製紙連合会と東京洋紙代理店会の各物流委員会と合同研修会を開催した。

冒頭、あいさつに立った菅英彦部長は「我々には、荷主各社の営業活動の一翼を担うという自負を持って取り組んでいる」と強調した。

一方、荷主側を代表し、日本製紙連合会の青山秀彦物流委員長(王子ホールディングス取締役常務グループ経営委員・王子物流社長)があいさつした。「今まで以上に効率的な保管・輸送による物流を目指していく必要がある、メーカーのパートナーとして安全・安心・効率的な輸送の提供をお願いする」と述べた。

研修会では、この後、日通総合研究所の大島弘明経済研究部担当部長が

その上で「労働力不足の中で優秀なドライバーの確保問題をはじめ、安全・確実な輸送業務の継続、物流品質の維持のためには、適正運賃の収受が必要不可欠。コスト面からだけでなく、営業活動の重要な一部分であることを理解していただきたい」と要請した。

「経済動向および原燃料コストの現状と見通しについて」と題して講演。全体的に減少傾向にある貨物輸送量や、燃料価格の動向に関して解説するとともに、トラック運送契約の書面化や労働力不足問題への対応などについて論及した。

研修会後、懇親会を開催。荷主側を代表し、東京洋紙代理店会の福田孝敏物流委員長(J-PRO ネット常務取締役営業本部長)があいさつした。

なお、研修後、懇親会を主催する仙石恵一代表が「本気になれば会社は変わる!」と「グリーン改革の実体感から見た」と題して講演。

仙石氏は日産自動車に在籍し、カルロス・ゴーン氏による経営改革、業績のV字回復などを現場で目の当たりにした体験・経験などを踏まえ、経営改革の進め方、あり方などについて論及した。

同日はこれら議事に先立ち、警視庁交通部の山下憲一交通安全組織係長が事業用貨物自動車関与者特別講習の実施状況などについて説明した。

同日はこれら議事に先立ち、警視庁交通部の山下憲一交通安全組織係長が事業用貨物自動車関与者特別講習の実施状況などについて説明した。

同日はこれら議事に先立ち、警視庁交通部の山下憲一交通安全組織係長が事業用貨物自動車関与者特別講習の実施状況などについて説明した。

同日はこれら議事に先立ち、警視庁交通部の山下憲一交通安全組織係長が事業用貨物自動車関与者特別講習の実施状況などについて説明した。

同日はこれら議事に先立ち、警視庁交通部の山下憲一交通安全組織係長が事業用貨物自動車関与者特別講習の実施状況などについて説明した。

同日はこれら議事に先立ち、警視庁交通部の山下憲一交通安全組織係長が事業用貨物自動車関与者特別講習の実施状況などについて説明した。

同日はこれら議事に先立ち、警視庁交通部の山下憲一交通安全組織係長が事業用貨物自動車関与者特別講習の実施状況などについて説明した。

同日はこれら議事に先立ち、警視庁交通部の山下憲一交通安全組織係長が事業用貨物自動車関与者特別講習の実施状況などについて説明した。

同日はこれら議事に先立ち、警視庁交通部の山下憲一交通安全組織係長が事業用貨物自動車関与者特別講習の実施状況などについて説明した。

同日はこれら議事に先立ち、警視庁交通部の山下憲一交通安全組織係長が事業用貨物自動車関与者特別講習の実施状況などについて説明した。

同日はこれら議事に先立ち、警視庁交通部の山下憲一交通安全組織係長が事業用貨物自動車関与者特別講習の実施状況などについて説明した。

同日はこれら議事に先立ち、警視庁交通部の山下憲一交通安全組織係長が事業用貨物自動車関与者特別講習の実施状況などについて説明した。

同日はこれら議事に先立ち、警視庁交通部の山下憲一交通安全組織係長が事業用貨物自動車関与者特別講習の実施状況などについて説明した。

同日はこれら議事に先立ち、警視庁交通部の山下憲一交通安全組織係長が事業用貨物自動車関与者特別講習の実施状況などについて説明した。

同日はこれら議事に先立ち、警視庁交通部の山下憲一交通安全組織係長が事業用貨物自動車関与者特別講習の実施状況などについて説明した。

同日はこれら議事に先立ち、警視庁交通部の山下憲一交通安全組織係長が事業用貨物自動車関与者特別講習の実施状況などについて説明した。

同日はこれら議事に先立ち、警視庁交通部の山下憲一交通安全組織係長が事業用貨物自動車関与者特別講習の実施状況などについて説明した。

同日はこれら議事に先立ち、警視庁交通部の山下憲一交通安全組織係長が事業用貨物自動車関与者特別講習の実施状況などについて説明した。

同日はこれら議事に先立ち、警視庁交通部の山下憲一交通安全組織係長が事業用貨物自動車関与者特別講習の実施状況などについて説明した。

同日はこれら議事に先立ち、警視庁交通部の山下憲一交通安全組織係長が事業用貨物自動車関与者特別講習の実施状況などについて説明した。

同日はこれら議事に先立ち、警視庁交通部の山下憲一交通安全組織係長が事業用貨物自動車関与者特別講習の実施状況などについて説明した。

## 東ト協G E P 参加 2事業所が優良賞

平成26年度「エコドライブ活動コンクール」(交通エコロジー・モビリティ財団主催)で、東ト協グリーン・エコプロジェクト(GEP)参加の2事業所が「優良賞」を受賞した。

「優良賞」を受賞したのは、GEP参加の入船物流システムと東京三栄運送。

また、若林運送小名浜営業所・エスティーシステム水戸営業所・同草加営業所・東配・大津運送・ロジトライ関東相模原事業所の6事業所が、「エコドライブ優良活動認定証」(事業部門)を受けた。

なお、表彰式は11月19日開催の「エコドライブシンポジウム」で行われた。

表彰式は11月19日開催の「エコドライブシンポジウム」で行われた。





### トラック事故速報 死亡事故

問い合わせ先：東京都トラック協会 運行管理課 ☎03-3359-3618

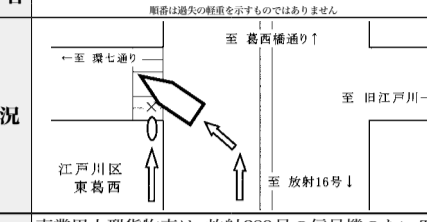
#### 事業用トラックの緊急特別安全対策実施中!!

○交差点右左折時は、横断歩道前で必ず一時停止し、指差し呼称による左右の安全確認を徹底すること!! (横断歩道上では歩行者優先)

**日時** 11月22日(土) 15時58分頃発生(晴天)

**場所** 江戸川区区内(放射289号<都道>)

**当事者** 事業用大型貨物車(50歳代後半) × 自転車(男性23歳 死亡)

**状況** 

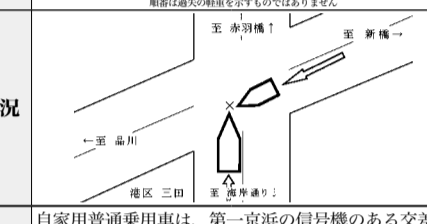
**概要** 事業用大型貨物車は、放射289号の信号機のないT字路の交差点を、放射16号方向から環七通り方向に左折する際、同方向から直進してきた自転車を未発見のまま左前輪に接触させて、転倒した自転車を轢したものの、

○交差点では、相手車両の信号無視も考えられるので減速、左右の安全確認等防衛運転に努める!!!

**日時** 11月29日(土) 5時25分頃発生(曇天)

**場所** 港区内(第一京浜(国道15号))

**当事者** 自家用普通乗用車(男性35歳 死亡) × 事業用大型貨物車(50歳代後半)

**状況** 

**概要** 自家用普通乗用車は、第一京浜の信号機のある交差点を、新橋方向から品川方向へ進行したところ、海岸通り方向から赤羽橋方向へ進行してきた事業用大型貨物車と出会い頭に衝突したものの、



### 制度創設で初の表彰

「本表彰は平成15年から実施されている安全性評価事業で認定された安全性優良事業所が表彰の選考対象で、大変栄誉あるもの」と強調。適正に事業を運営している業界のトップランナーとして、長年にわたり安全対策に取り組んだ経験と知識を生かし、さら

一方、受賞事業所を代表して、東ト協の浅井隆副会長(浅井本社営業所)が「Gマークをツールとして活用し、コンプライアンスの向上や、運送事業の一層の発展・繁栄のため、努力していきたい」と謝辞を述べた。

受賞事業所は次の通り。  
 浅井本社営業所▽天野運送本社営業所▽上松運輸本社営業所▽久留米運送本社営業所▽丸芳田中屋運送本社営業所▽三屋運送本社営業所▽宮本運送滝山営業所▽八千代運輸本社営業所▽川賀運送本社営業所

### 東京運輸支局

## 安全性優良事業所表彰式

## 10年以上継続認定 24事業所を表彰

東京運輸支局は11月21日、品川区東大井の同支局1階会議室で、平成26年貨物自動車運送事業等安全性優良事業所表彰式を開催し、24事業所を表彰した。今回が制度創設に伴う初の表彰で、星野朗支局長から受賞事業所の代表一人ひとりに表彰状が授与された。

同表彰は、安全性優良事業所(Gマーク事業所)認定取得に対するインセンティブ拡大の一環として創設されたもので、10年以上継続して認定されていることなどが要件。

星野支局長は式辞で、「本表彰は平成15年から実施されている安全性評価事業で認定された安全性優良事業所が表彰の選考対象で、大変栄誉あるもの」と強調。適正に事業を運営している業界のトップランナーとして、長年にわたり安全対策に取り組んだ経験と知識を生かし、さら

### 警視庁交通部長から感謝状受領



警視庁交通部長から感謝状を贈られた。警視庁、東京都交通安全協会、交通安全協会と意見交換し、生花を贈る活動なども行っている。

### 東ト協女性部

東ト協女性部(原玲子本部長)が、長年にわたる交通安全活動や都民の交通安全意識の高揚などに貢献した功績により、「特別優良団体」として

「青だけども車は私を見てるかな!」  
 営業用トラック関与の交通事故の特徴

平成26年10月末現在の都内全域の交通事故発生件数(本年累計)は30,585件で、前年同期比3,871件減少したが、死者数は130人で同3人の増加となった。

営業用貨物車の関与事故「違反別」表の下段「注」参照)発生件数(本年累計)は、2,738件で前年同期比137件減少した。ただ、死者数は24人で同3人の増加となった。

事故類型別では、右左折時の車両相互事故が326件で前年同期比30件の減少で、死者数は5人だった。

違反別では、安全不確認による関与事故が731件で、前年同期比16件の増加となっている。

### 違反別 営業用トラック関与の交通事故 (平成26年10月末)

発生件数	安全不確認	前方不注意	交差点安全進行	歩行者妨害	一時停止	ハンドルプレキ	信号無視	徐行違反	右左折	その他	計	注	
												関与	死亡
大型	121	114	23	13	0	16	6	0	1	83	337	126	13
中型	221	235	80	32	1	48	18	0	2	149	776	221	24
普通	370	203	168	26	7	49	20	0	0	138	981	384	24
合計	702	552	271	71	8	113	44	0	3	370	2,134	731	57
死者数	2	2	0	3	0	0	0	0	0	2	9	2	13

注：営業用貨物車の関与事故件数とは、第1または第2当事者のどちらか一方が営業用貨物車であった事故の件数をいう。ただし、第1および第2当事者がともに営業用貨物車であった事故は件数を1件とする。  
 ※表中の(前年比)は、関与事故件数のもの。

# トラック事業者のための自動車共済

安全と安心をお届けして43年。  
 関交協は、みなさまと共に歩みつづけます。



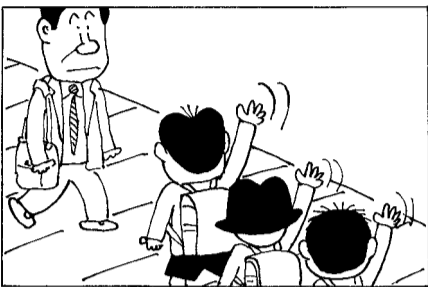
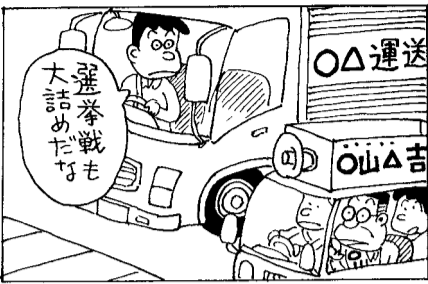
☎160-0023  
 東京都新宿区西新宿7丁目21番20号(関交協ビル)  
 Tel.03-5337-1750 Fax.03-5337-1765

関交協 検索



# マクセル君

No.759



東京都トラック協会と東京都福祉保健局は11月29日、墨田区堤通の白鬚東備蓄倉庫で平成26年度運用訓練および運用体制検討会議を行った。都の「災害時における東京都災害備蓄倉庫での荷役作業等に関する協定」に基づき、荷役作業手順を確認するとともに、運用体制を検証するため、実施した。

訓練は、東京湾北部地震が発生して都区部が甚大な被害を受け、白鬚東備蓄倉庫からの物資の搬出要請があったとの想定で実施。東ト協の荷捌き要員が、都の輸送隊車両に救援物資を積み込むまでの訓練を行った。具体的には14号棟で倉庫付属のシューター使用による搬出、13号棟では台車・ローラーなどの機材使用による搬出の2つの方法で実施した。

訓練は荒川・足立・墨田・葛飾各支部の協力により、4支部合計で作業員15人、2台車2台(運転者2人)および本部職員5人を動員し、都から2人が参加。また運用訓練の視察や検討会議には、墨田支部の香川省司支部長や荒川支部の岸澤武春支部長をはじめ、各支部役員らが参加した。

訓練の結果、今後改善を要する課題として、雨天時にシューターに物資が滞留する問題をはじめ、停電でエレベーターが使用不能となる場合や作業員の人員が少ない場合などについて、対応策を検討する必要があることを確認した。

東ト協では、早急に全フロアへ台車を配備するよう強く要望するとともに、今後も都と協力して、円滑で効率的な運用体制の構築に取り組む方針。

## 東ト協・東京都合同 備蓄倉庫運用訓練 効率的な運用体制構築へ

国土交通省は、平成26年度「年末年始の輸送等に関する安全総点検」事故防止等に関する安全点検及びテロ対策等の点検(12月10日～27年1月10日)を実施する。

国交省全体の重点点検事項は、「安全管理(特に過労運転等の防止対策、運転者等に対する指導監督体制)の実施状況」をはじめ4項目。

自動車局の重点点検事項は、①「健康管理体制の状況」②「運転者による過労運転を行わないための安全対策の実施状況」③「運転者に飲酒運転や薬物運転等を行わせないための体制の状況」

掲げ、自主点検表に「事業用自動車の運転者の健康管理マニュアル」(今年4月改訂)に関する項目を追加し、「運転者の健康管理マニュアル」者に対する支局長表彰式を開催した。

トラック、バス・ハイタク部門合計で陸運関係従事者41人、運行管理者1人、整備管理者2人の44人を表彰した。東京都トラック協会関係では陸運関係従事者・運行管理者各1人が受賞。

星野朗支局長は式辞で、まず各受賞者の功績をたたえた上で、事業用自動車の交通事故発生状況に触れ、「件数・死者数とも減少傾向だが、依然として高い水準にある。また最近では社会的問題となっており、危険ドラッグの使用が原因とみられる悲惨な事故が発生しており、業界を挙げて薬物の使用禁止への取り組みをお願いする」と述べた。

さらに、「安全・安心の確保は、運送事業者にとって最も重要な責務。今後とも安全運行のために「ご尽力いただきたい」と呼びかけた。

26年度「年末年始の輸送等に関する安全総点検」事故防止等に関する安全点検及びテロ対策等の点検(12月10日～27年1月10日)を実施する。



国交省では、年末年始「安全総点検」の実施について、全日本トラック協会に通知し、総点検の実施を徹底することにより、安全確保を図るよう求めている。

「安全総点検」の実施状況「コンテナ輸送における安全対策の実施状況」など6項目。

東ト協関係の受賞者は、次の通り(敬称略、カッコ内は会社名・所属支部)。

【陸運関係従事者】高橋成貴(北星運輸・板橋)

【運行管理者】高野誠(関東生コン輸送・大田)

東ト協関係の受賞者は、次の通り(敬称略、カッコ内は会社名・所属支部)。

【陸運関係従事者】高橋成貴(北星運輸・板橋)

【運行管理者】高野誠(関東生コン輸送・大田)

### 陸運従事者・運行管理者・整備管理者表彰 東ト協関係2氏に栄誉



東ト協関係の受賞者は、次の通り(敬称略、カッコ内は会社名・所属支部)。

【陸運関係従事者】高橋成貴(北星運輸・板橋)

【運行管理者】高野誠(関東生コン輸送・大田)

東ト協関係の受賞者は、次の通り(敬称略、カッコ内は会社名・所属支部)。

【陸運関係従事者】高橋成貴(北星運輸・板橋)

【運行管理者】高野誠(関東生コン輸送・大田)

### 26年度 年末年始「安全総点検」 12月10日～27年1月10日 国交省

掲げ、自主点検表に「事業用自動車の運転者の健康管理マニュアル」(今年4月改訂)に関する項目を追加し、「運転者の健康管理マニュアル」者に対する支局長表彰式を開催した。

トラック、バス・ハイタク部門合計で陸運関係従事者41人、運行管理者1人、整備管理者2人の44人を表彰した。東京都トラック協会関係では陸運関係従事者・運行管理者各1人が受賞。

星野朗支局長は式辞で、まず各受賞者の功績をたたえた上で、事業用自動車の交通事故発生状況に触れ、「件数・死者数とも減少傾向だが、依然として高い水準にある。また最近では社会的問題となっており、危険ドラッグの使用が原因とみられる悲惨な事故が発生しており、業界を挙げて薬物の使用禁止への取り組みをお願いする」と述べた。

さらに、「安全・安心の確保は、運送事業者にとって最も重要な責務。今後とも安全運行のために「ご尽力いただきたい」と呼びかけた。

東ト協関係の受賞者は、次の通り(敬称略、カッコ内は会社名・所属支部)。

【陸運関係従事者】高橋成貴(北星運輸・板橋)

【運行管理者】高野誠(関東生コン輸送・大田)

### 高速道路の交通安全活動

警察庁は、国土交通省・高速道路各社・全日本交通安全協会・全日本トラック協会とともに、高速道路における交通安全啓発活動を行っている。

11月から「レッツブレイク!」(ひと息入れて安全運転)をキャッチフレーズとして、早めに休息を取るとともに、交通マナーやルールなどの遵守を呼びかける啓発活動を展開しているもの。実施期間は平成27年12月ま

高速道路での死亡事故件数・死者数は25年まで4年連続で増加している。また、高速道路に100キロ未満の死亡事故が約5割を占め、このうち居眠りや漫然運転によるものが約27%と多い。

こうした状況を踏まえ、改めて啓発活動を行っているもの。主

警察庁は、国土交通省・高速道路各社・全日本交通安全協会・全日本トラック協会とともに、高速道路における交通安全啓発活動を行っている。

11月から「レッツブレイク!」(ひと息入れて安全運転)をキャッチフレーズとして、早めに休息を取るとともに、交通マナーやルールなどの遵守を呼びかける啓発活動を展開しているもの。実施期間は平成27年12月ま

高速道路での死亡事故件数・死者数は25年まで4年連続で増加している。また、高速道路に100キロ未満の死亡事故が約5割を占め、このうち居眠りや漫然運転によるものが約27%と多い。

### 27年12月まで展開

警察庁は、国土交通省・高速道路各社・全日本交通安全協会・全日本トラック協会とともに、高速道路における交通安全啓発活動を行っている。

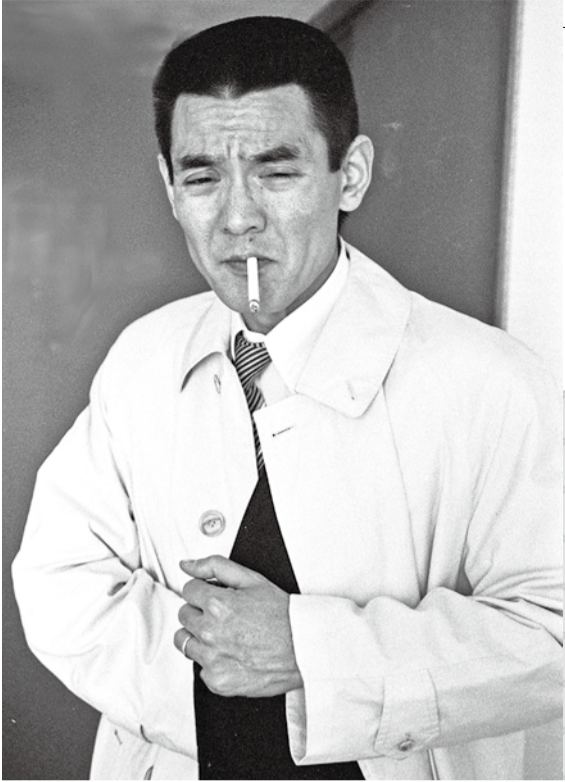
11月から「レッツブレイク!」(ひと息入れて安全運転)をキャッチフレーズとして、早めに休息を取るとともに、交通マナーやルールなどの遵守を呼びかける啓発活動を展開しているもの。実施期間は平成27年12月ま

高速道路での死亡事故件数・死者数は25年まで4年連続で増加している。また、高速道路に100キロ未満の死亡事故が約5割を占め、このうち居眠りや漫然運転によるものが約27%と多い。

こうした状況を踏まえ、改めて啓発活動を行っているもの。主

運行管理者国家試験対策テキスト  
平成27年3月版  
過去の問題の解説と実践模擬問題  
【貨物自動車運送事業編】税込価格2,592円  
お求めは東京都トラック協会各支部または下記まで  
平成26年版(7月刊)  
**自動車六法**  
定価 5,940円(税込)  
株輸送文研社 <柏林書房>  
TEL.03-3861-0291(代) FAX.03-3861-0295



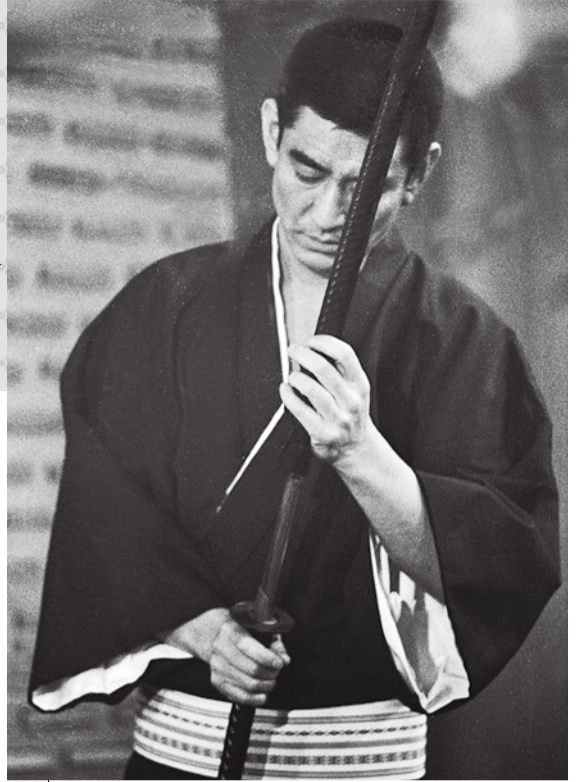


ニコン ニッコール50ミリ

健さんのポスターを見た菅原文太さんから、「俺のも撮ってくれ」と言われて、京都の街を歩き回った。文太さんは、おそろしくシャイで、繊細な人だった。

# 「義」は高倉健とともに消え、「仁」は菅原文太とともに去って行く

健さんは、ステージでは出番のない時でも、出ずっぱりで疲れていても絶対に座らない。しかも、小童(こわっぱ)のカメラマンの注文には、ハイと即答して応じてくれた。持っていた刀で斬られても仕方なかったと今、思う。



視点 焦点 合点

文と写真= 写真家・石黒健治  
http://ishigurokenji.com

**菅** 原文太さんは「昭和残侠伝」の後に、その内実を糾弾するような「仁義なき戦い」が出てきた。義に彩られた任侠の世界を、深作監

督があばいて見せたのだ。安部闘争が惨めな形で収束した時、健さんの後を追って、文太さんはスターになった。その後、「トラック野郎」シリーズで幅広い人気を得た。俳優を卒業してからは、原発反対など社会的な問題に関心を示し、発言もしてきた。晩年は山梨県で、無農薬野菜の栽培をしていたと聞く。政治的発言が皆無の健さんとは対照的だ。

高倉健さんが、人気を不動のものにしたのは映画「昭和残侠伝」シリーズだった。1960年・70年安部闘争の渦中で、若者たちは、理不尽な相手に我慢の限度を超え、ついに殺気を帯びて挑んでいく健さんに、胸をかきむしられた。見終わって映画館を出る時は、みな肩をいからせていたのだ。

「義」とは何か。いま、試みに若い人に説明しようとして、途方に暮れる。義は義務の義であり、義理の義。正義の、ほらソフトバンクの孫さんも正義でしょ、という、何となく分かったような顔になるが、かえって、こちらが分からなくなってしまう。で、久しぶりに辞書を引いてみた。義は「正しく立派なこと」と出てくる。

まさに健さんは義の人であった。 「仁」については、辞書を引くと、「情け、思いやり、人の根本の道」と出てくる。ちなみに植物の種の内部を仁という。アマニは亜麻仁である。義も仁も儒教の五常「仁、義、礼、智、信」にあり、いずれも「利」と対立する思想だといえる。

五常にはない「侠」は、おとこ気とある。「男氣を引くと、「利益や情実よりも、正しいこと、弱いものに味方する気性のこと」だそうである。これでは、若い人に説明しても分かってもらえないはずだ。現代は、義や仁や侠に対するセンサーが壊れていて、利にばかり敏感な時代だから

パズル & クイズ by 草野 公平

## 数楽パズル

タテ9列、ヨコ9列のどの列にも、1~9の数字がひとつずつ入ります。同時に太い線で囲まれた9マスの、どのブロックにも、1~9の数字がひとつずつ入ります。最後に問1のAと問2のBをプラスしてください。その数字が答えです。

6			4	2				5
4		3	5		7			6
	1		7		9			8
		5				2	4	
8	2		4	7	6			3
1		4		A		6		
	5		8	3	4			9
9		8		2		3		4
3			5	9				2

7	5	1	4	2	3			9
1	2		8		5		7	6
		4		7		2		
2		6				1		4
	7		4	5	9			2
9	4	8		6		5	3	7
	3			B				5
6			5		3			2
		2	9	1	4	7		

A+B= ?

## ポケット

要介護認定を受けたら、まず近くの「地域包括支援センター」に連絡しましょう。ここは地域の介護・福祉を総合的に支援するところです。役

病院や診療所であれば、近所の評判やウェブサイトを判断するのも一つの方法です。ただ、ケアマネジャーのいる「居宅介護支援事業所」が、サイトを持っていることは稀です。

## ケアマネジャーの選び方

ケアマネジャーは、介護をする上で心強い存在です。ぜひ、良い人を見つけてほしいと思います。

身内の者に介護サービスが必要になれば、まず要介護認定を受ける必要があります。認定が終わると、地域の市役所などから、介護度と地域の介護事業所のリストなどを渡されます。

また、ウェブサイトで厚生労働省の「介護サービス情報公表システム」で、近くの介護事業所を探すのも1つの方法です。情報が十分とは言えませんが、事業所の特徴などをしっかり書いてあれば、対応についても期待できると思います。

医療と介護 第5回

医療ライター 西 健悟

所から委託を受けた事業者が運営することが多く、中立的な立場であるため、ケアマネジャーは斡旋しません。しかし、「参考までに良い事業所はありませんか」と尋ねれば、何か教えてくれるはず。かかりつけの医師に聞いてもいいかもしれません(医療法人が介護サービスを提供している場合、紹介してくれるかもしれません)。

官製はがきに、①答え②あなたの住所・郵便番号③会社名④氏名⑤年齢⑥本紙へのご意見・ご要望を明記し、お送りください。正解者の中から抽選で3名様に図書カード(1,000円分)をプレゼント。

●宛先=〒160-0004 新宿区四谷3-1-8 (一社)東京都トラック協会 広報部「トラック時報」係

●締め切り=12月末日 (正解は1月10日号に掲載)

☆インターネットでの応募も可能です。 http://www.totokyo.or.jp/

☆インターネット応募の場合、解答フォームをご利用ください。東ト協HPトップ「会員の方へ」をクリックし、次ページ右の「トラック時報パズル&クイズに応募」へ。

★11月10日号「クロスワードパズル」の正解は「ノヤマデモジガリ」でした。

ひげの宇 沢弘文さん といえば、知る人ぞ知る人物。東京大学名誉教授の肩書を持つ。宇沢さんが9月18日に86歳で亡くなった。いわゆる、公害問題の論客として知られるが、実は「自動車の社会的費用」というベストセラーの著者でもある。この著書は昭和49年に出版された。自動車が生活に深く浸透し、まさに生活になくてはならない存在になりつつあった時代である。保有車両は2千8百万台を記録した。この時、「大気汚染騒音など自動車のもたらす負の部分の負担すべき社会的費用は大きい」と論じ一石を投じた。◆前年の48年には石油ショックが発生。これを機に省エネが叫ばれ、トラック運送事業も燃料節約が経営の基本に据えられた。翌49年は狂乱物価という現象に、国民は疲弊した。初めてマイナスイオン経済成長を経験した。便乗値上げの横行は目に余るものがあり、わが業界はヒドイ目にあった。物価上昇率は何と32.4%と、戦後最悪の記録となった。◆社会が不安定な時期であっただけに、宇沢論文はインパクトが強かった。名物男が逝った。ご冥福を祈る。